

連休明けから園庭での活動がはじまりました。
 更に、園外保育の活動と共に変化に富んだ生活になります。
 園生活の楽しさを毎日に増えています。そしてお弁当の日もあります。
 楽しいひとときをしたいので、我が子の大好きなものをに入れてあげて
 ください！ 食べやすくしてあげてください♡

■「ピンポンポン^{ぽん}」とリズムが流れると
 どんな夢中になってあそんでいて、どの子も
 ピタットあそびを止め、床に体操おわりします。

大切なお知らせを聴く為の準備なのです。
 勿論新入園のおともたちと一緒にです。
 進級したお兄さんお姉さんたちの
 真似をして覚えたのです。

こどもたち、お互いに育ち合いの
 ひとつの例です。

毎日の園生活の中で、このように
 おともたちの又、おにいさんおねえさんの
 やっていることを見ておぼえていくという事
 が多いのです。

正に育ち合いの場なのです。
 毎日使っていることばにも色々とビジュアル
 させられるでしょう！


■ コロナ対策の一環として、昨年度は
 ホールで遊べるのはクラス単位でした。
 スケールの大きな遊びが限定されていま
 した。

でも今年度からは、ホールと園庭
 を学年単位で遊びます。

遊びの中身や活発さにこれ迄
 以上の変化があって、楽しさが
 倍増です。

そして、一人ひとりの汗の量も
 これ迄違ってすごいです！

ここで、おねがいします！

 が園庭での遊びの条件に
 なります。女の子はヘアスタイルを気にして
 着帽しません。園庭で遊ばせません！

(心の育ちシリーズ) **子どもは親のロボットではありません** 内田伸子の
 安心子育てより

幼稚園児から小学生くらいの子どもは、率直な自己表現をするものです。例えば落書き
 や、イヤイヤ期などの言葉や態度は、親が抑えつけるべきではありません。
 しかし、この自己表現も、リビングの壁に落書きされたり、友達と遊びたかったのに遊べない時の
 激しい^{カッパ} 腐爛など、行き過ぎると親はつい強く叱りつけてしまいがちです。

世間の尺度に照らして「わがまま」と決めつけ、「いい子はそんなことしないよ」「そんな悪い子は
 うちの子ではないよ」などと、子どもを脅かすようなことを口にしがちではないでしょうか。最悪の
 場合は力手が出ることも…。

子どもは敏感ですから、こうしたことが続くと「自分は親から嫌われている」と思うようになります。
 子どもにとって親に見捨てられるほど恐ろしいことはありません。ですから自分を抑えつけて親に
 従うようになります。こうなると子どもは親の期待や理想を満たすためのロボットです。

さて、ロボットのような子は言いなりに動くので表面的にはとても「いい子」になったと安心するかも
 しれません。しかし生身の子どもですから、心の中は満たされず、自分を抑えるために、自分に
 自身を持てなくなり、他人から否定されることを極端に怖がるようになります。

子育ての目標は、子どもの自立(生活習慣づけ)と自律(自分で考え判断し行動する)です。そのため
 に必要なのは、恐怖を植えつけたり、思考停止にさせることではありません。

人生の喜びは、さまざまですね。でも、その中で最大の喜びは「自分の夢や希望を実現する
 ために、自分の頭で考え、自分で歩んで行く」ことではないでしょうか。

人が敷いたレールを歩むのではなく、自分の夢や希望をしっかりと見つけて自分のレール
 を自分の足で歩む、そんな大人に育てたいですね。

私たち親は、そんな子どものサポーターになれればいいですね。